まもなく開催

市民活動がよくわかる

のたろんフェア

2015

2015年 2月 7 & 8日（土曜日・日曜日）

午前10時 から 午後4時

場所　横須賀市立市民活動サポートセンター

- スタンプラリー
- 市民活動パネル展示
- フリーマーケット
- 市民活動ミニ体験
- のたろん復興応援団
- のたろんステージ

ひとりじゃないよ　みんなで手をつなごう

のたろん新春号

すかっこの 市民活動情報

「NPO のつくりかた」　団体活動はルール作りがたいせつ！

2014 年 11 月 29 日、神奈川県立保健福祉大学でおこなわれた「横須賀生涯現役フォーラム」。堀田力さんの講演会の後、大学の教室会場で様々なセミナーが開催されました。サポートセンターは、「NPO のつくりかた」というセミナーを主催。助け合いハイランド、NPO “よこすかそば文化村”、よこすかまちづくり市民の会、３つの市民活動団体の代表の方々をお招きして、団体のことを語っていただきました。団体を作ったきっかけの他、工夫したこと、難しいこと、苦労したこと、失敗したこと、そして、ルール作りが大切であること。

どのお話も具体的な内容だし、活動してみなければ知り得ないことばかりでした。

「NPO 法人になることも大事だけど任意団体として丁寧な活動自体に力を入れていきたい」会場にいらっしゃった参加者からそのような声もうかがえました。

企業・NPO・大学 パートナーシップミーティング　その後どうなったの？成果報告あります

大学が加わるのは横須賀では初めて。2014 年 9 月 9 日、産業交流プラザでおこなわれた企業・NPO・大学をマッチングするイベントの成果が見えてきました。

可能性いっぱい！
これからの活動のヒントになるかも

大学の学園祭にブースを出展！　(特非)あんしん農園 × 神奈川歯科大学

重機で畑を耕やそう！　㈱新晃産業 × (一社)横須賀建設業協会 × よこすか思いっきり遊ぶ会

三浦の地域活性化イベントを横須賀で開催　㈱ジェイコム湘南横須賀局 × ＮＰＯ法人横須賀創造空間 × 三浦半島食彩ネットワーク × 三浦市

主催した神奈川県のホームページには、協働事業報告として、成果の事例が掲載されています。神奈川県のホームページ「企業・ＮＰＯ・大学 パートナーシップ支援事業 (2014)　http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6188/

のたろんプロボノ大作戦　仕事のスキルが活かせるボランティア

2014 年 6 月、横須賀で初めてのプロボノプログラム「のたろんプロボノ大作戦」が始りました。9 月 6 日に行われた「プロボノフォーラム」には 60 名を超える参加者が集まり、「プロボノ」に対する関心の高さがうかがえました。

今年度のプロボノ事業は「Oneday プロボノ」という取り組みで、エントリーした３つの団体の運営に関する課題の洗い出しとその解決の道筋の提案をするワークショップです。

参加してくれたボランティア（プロボノワーカー）の方々は、普段仕事で培っているスキルを活かして、団体の課題解決のために真摯に取り組んでくださいました。「Oneday」のはずのプログラムでしたが、皆さんとても熱心で、何度もミーティングを持ってくださり、とてもいい提案をしてくださいました。

実際にプロボノワーカーとして市民活動団体支援をした「のたろんプロボノ大作戦」初代ワーカーの方たちに意見を聞いてみました。

- 自分の価値観をみなおす機会になった
- NPOが抱える問題がわかって勉強になった
- 仕事とは別の人達とひとつの課題に取り組むのでとても刺激になった
- 長く続けてほしい

サポートセンターでは、来年度本格的にプロボノ事業を行います。
そのためのボランティア、プロボノワーカーを募集中です。
ワーカー説明会：2015 年 1 月 17 日（土）14：00 ～、1 月 20 日（火）19：30 ～　場所はサポートセンター
説明会は上記以外にも行います。お問い合わせください。

ひと ～市民活動を支える人たち～

プロボノワーカー　　永野 亜由美さん

のたろんフェア２０１５副実行委員長。「謙虚な気持ちを大切に」「縁の下の力持ちになりたい」と語る永野さんにお話を伺った。

横須賀市林の農家の長女として生まれる。小学生の頃は、男の子に混じって遊んだ活発な子どもだった。

中学生の時、ボランティアセンターの車いすの清掃や、青い鳥幼稚園の園児の遊び相手として、ボランティア活動を行った。初めてのボランティアだった。

高校では、野球部のマネージャーや、英語部の部長を務めた。英語が大好きで、東京の大学で英語を学ぶつもりでいたが、英語部の顧問の先生に勧められ、アメリカの大学に進学することを決意する。

渡米直後は会話に苦労したが、日本文化（アニメやコスプレ）が大好きな学生仲間と意気投合し、交流するうちに、夢も英語で見るほどに上達。１か月もしないうちに何不自由ないコミュニケーションが取れるようになった。

アメリカの大学は厳しく、遊ぶ暇もなく勉強に明け暮れる毎日だった。２年制のコミュニティーカレッジを卒業し、ワシントン州立大学に編入。「人間学」を専攻した。学んでいるうち、いずれ日本に帰国することも考え、もっと実践的な勉強をしたいと思い、コミュニケーション学を学ぶためシアトルパシフィック大学に移った。

卒業論文は、原爆をテーマに書いた。当時の日本人の声として、今は亡き祖母のインタビューをまとめ、担当教授からも高い評価も得た。マリナーズ本拠地の野球場「セーフコ・フィールド」貸し切りで行われた卒業式は、忘れられない思い出となった。

帰国後、横須賀での就職を希望し、図書館システム開発の会社に就職した。Ｗｅｂの作成、プログラムの開発に携わり、現在は、営業・調査にも関わっている。英語力を活かし、技術文書の翻訳や、アメリカの運用方法の調査なども担当している。チャットを使って、現地の図書館員と討議をする事もある。

サポセンとのつながりは、中学時代の恩師の滝田先生。「先生との出会いがあったから今の自分がいる。いつか恩返しがしたいと思っていた。」先生に誘われて「こども若者応援団」の副代表を引き受け、打ち合わせのため何回も足を運んだ。それから、いろいろなつながりができ、他にもさまざまな市民活動団体にかかわるようになった。職業スキルを活かしたプロボノワーカーとして団体の支援にも取り組んでいる。

趣味は、父親の影響もあり「車」。近所に住むアメリカ人と車を通して交流が始まり、横須賀基地内で通訳等イベントボランティアも行っている。「外国人がたくさんいる横須賀だけど、なかなか友だちになれないと言うことを耳にしている。イベント企画などを通して、橋渡しができればいい」人とのつながりを大切にする永野さん、英語力とコミュニケーション能力を駆使し、持ち前の行動力と頑張りで、横須賀と世界の架け橋となってゆくのだろう。そんな予感がした。

（はこざき）

運営ボランティア募集

NOTALONE FAIR 2015　のたろんフェア2015

開催日：2015 年 2 月 7 日（土）、8 日（日）

ぼくといっしょに
ボランティアスタッフとして参加しませんか？

もっと知りたいあなたは
のたろんフェア　検索

のたろんフェアとは　福祉や環境、国際交流など、さまざまな分野で活躍している市民公益活動団体の日ごろの活動を多くの皆さんに知っていただくための市民活動フェアです。

まもろう

ボランティア ルールとマナー

誰にも話さないでください

他言はぜったいダメなんです

福祉保健などのボランティア活動では、ある程度の私生活に関わる情報の把握が必要です。信頼されて相談にのるうちに、更にその人のことを深く知ることもあります。信頼をこわさないためにも、活動で知ったことは、誰にも話さないでください。それが些細なことだと思ってもです。ボランティアの仲間どおしでも同じです。活動を通じて知り合った個人のプライバシーをむやみに人に話したりしないようにしましょう。

約束は守る　無理せずに　目的を理解　プライバシー厳守　ほう・れん・そう

まどろみ

去る11月29日（土）、県立保健福祉大学で堀田力さんの生涯現役社会を目指すための「定年後の人生を地域で生きる」と題した講演会が開かれました。当日は雨にもかかわらず、大勢の人たちが熱心に耳を傾けました。

・堀田さんは自らのボランティアを通して夫婦共通点を見い出したこと。

・23年の活動から見えてきたことは、人のために何かをやっている人は輝いているし、何より本人の人生の向上にもなっている。

・世の男性方は積極的に外に出て、自分の能力を地域の誰かに生かしてほしい。

・これからは、地域で支え合うことが求められている。助け合うことは幸せにつながり、活動を通してあったかい社会を次世代の子どもたちに引き継いでいきたい。

堀田さんは終始にこやかにボランティアは「互助」であると、強調されたのです。

まだまだ元気なお父さん方はこれを機に、ボランティアに一歩踏み出してほしいと願いながら帰路につきました。

２００８年夏号より書かせていただいた「まどろみ」を勝手ですが、体調不良のため今回で終了させていただきます。ここまで来れましたのも、スタッフの方々のお力添えがあってこそと深く感謝しております。何より私の拙文を読んでくださった皆様に合せてお礼申し上げます。

最後になりましたが、情報誌「のたろん」のますますのご発展を心より願っています。

（田中）

********** サポセンtopicsトピックス

謹んで訂正いたします

情報誌のたろん 15 周年特別号「サポートセンターのあゆみ」におきまして、“2008 年 4 月さぽせんサポーターズ（通称さぽサポ）誕生” とありましたが、サポセンの若き学生ボランティアチーム「さぽサポ」の誕生、正しくは 2007 年です。たいへん失礼いたしました。みんな！ごめんなさい！

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

◆サポセン発信情報（カメラ付き携帯で読み取れます）
◆E メール info@yokosuka-supportcenter.jp
◆サポートセンターのホームページ
「のたろん Web」は “のたろん” で検索♪

のたろんジャーナル

のたろん　検索

情報誌「のたろん」新春号（通巻 61 号）　2015 年 1 月 1 日
発行 横須賀市立市民活動サポートセンター
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート
横須賀市本町 3-27（京浜急行汐入駅徒歩 1 分）
TEL ０４６－８２８－３１３０
FAX ０４６－８２８－３１３２
市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

編集ボランティア／はこざき・たなか・みずたに　スタッフ／ぬまさき・のぎむら